

特集3 公共施設の移転について

図1 施設の移転について

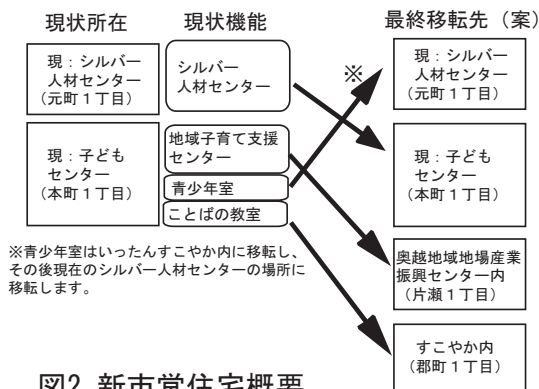
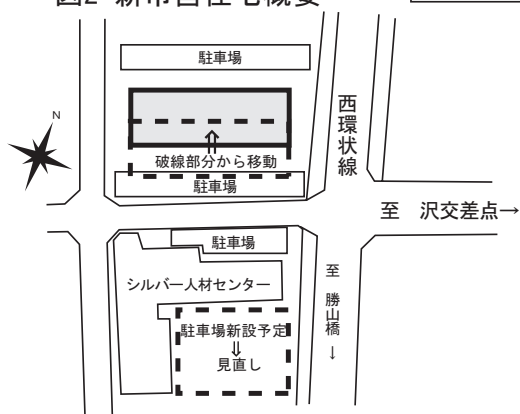


図2 新市営住宅概要



市は図1に示すように、シルバー人材センターを現在の『子どもセンター』へ移転し、子どもセンター内の地域子育て支援センターを『奥越地域地場産業振興センター』内へ、ことばの教室を『福祉健康センターすこやか』内へ、青少年室を現在の『シルバー人材センター』へ移転する計画を提示しました。議会では全員審査特別委員会で提出された移転計画や、シルバー人材センター改修工事(案)及び隣接する新市営住宅の建設計画も含め問題点について審査

をしました。その結果、予算の圧縮を図るため、シルバー人材センター用の駐車場工事を見直し、図2のように新市営住宅の用地内に駐車場を確保し、土日のイベント等のために開放駐車場として活用することを求めました。また、新市営住宅の西環状線側に設置を予定していた物置等も景観などに配慮し設置場所を変更するなど、今後、議会と協議しながら進めていくよう求めました。

特集4 工事着工される2大整備事業



▶勝山駅前広場整備

第2期まちづくり交付金事業で実施される予定の勝山駅前広場整備が、22年度から工事に着手し、24年度完成予定です。整備内容は、ロータリーを整備し、交通機能強化を図り、勝山駅舎も改修します。駅前広場にはテキ6の動態展示など、勝山市の玄関口にふさわしい、大正ロマン漂う電車博物館の整備をしていきます。

事業実施にあたり議員からは、第1期の事業評価を生かして市民の利便性の向上や駐車場との連携、24年度開催予定の全国自治体環境会議に支障がないよう、に工事を進める必要があることなど、今後の課題について意見が出されました。



▶史跡白山平泉寺旧境内総合整備

20年度から5カ年、総予算約6億円が進められている史跡白山平泉寺旧境内総合整備事業の総合案内施設(ガイドンス施設)の工事が24年秋の完成を目指して22年度から始まります。

この施設は平泉寺の発掘調査歴史、白山信仰などをわかりやすく伝える施設ですが、これまで議会から景観に配慮することや、建築方法、県産材の利用や運営方法等に意見が出されています。また、今後も発掘地や西蓮院跡、見学路、サイン設置などの整備を順次進めるよう意見が出されました。